

# のどか通信

2019.10 月

医療法人社団紀洋会  
kiyoukai

短い秋が終わるとすぐに冬がやってきます。  
毎年流行する「インフルエンザ」今のうちから対策を  
しておきましょう！！



風邪とインフルエンザはどう違うの？

☆原因となるウイルスが異なります。インフルエンザ  
では高熱（38度以上）、頭痛、関節痛、寒気、咳、強  
い倦怠感が急激に現れます。



予防するためにはどうすればいい

- その① インフルエンザのワクチン接種
- その② 外出後の手洗い
- その③ 空気が乾燥しないように適切な湿度を保つ
- その④ 十分な休養とバランスの取れた栄養摂取
- その⑤ 人込みにはいかない





ワクチンについて教えて！

1) ワクチンを接種してもインフルエンザにかかるのはなぜ？

☆インフルエンザのワクチンはそのシーズンに流行されると予測されると判断されたウイルスを用いて製造され

2) ワクチンを接種しても予想が外れると意味がないの？

☆絶対にかからないものではなく、発病を予防する事や発病後の重症化を防いでくれます。



3) ワクチン接種後どのくらい効果があるの？

☆インフルエンザのワクチンは2週間～5か月程効果があるとされています。遅くともその年の12月中旬までに摂取することが望ましい。



満65歳以上の方等は、公費助成の対象となります。各自治体によって、実施期間や公費補助が異なりますので確認が必要です。

高齢の方がインフルエンザにかかると重症になるリスクが高くなります。周囲の方と協力してインフルエンザを予防しましょう。もし、インフルエンザが疑われる症状が出たら早めに医療機関に受診しましょう！